

カントリー極楽帳

HITOSHI SAWANO

MICHIO HIGASHI

KENJI MOTOMIYA

沢野ひとし 東理夫 本山賢司





カントリー極楽帳

HITOSHI SAWANO

MICHIO HIGASHI

KENJI MOTYAMA

沢野ひとし 東理夫 本山賢司

日本音楽著作権協会(出)許諾第9163100-101
(録) R-180077

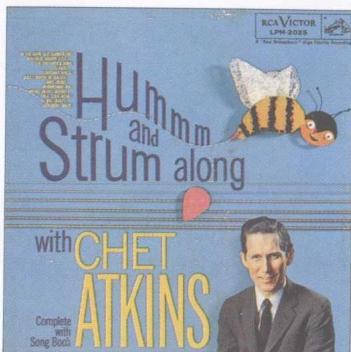
カントリー極楽帳
1991年10月7日発行
著者 沢野ひとし・東理夫・本山賢司
発行者 小高民雄
発行所 東京書籍株式会社
東京都台東区台東1-5-18
印刷・製本 図書印刷株式会社
3942-4111(営業)3942-4173(編集)
©Hitoshi Sawano, Michio Higashi, Kenji Motoyama
ISBN4-487-75350-3 C0095 NDC914

TOKYO SHOSEKI PRESENTS.

1,760.-

カントリー・レコード・ジャケット博覧会(本山賢司蔵)

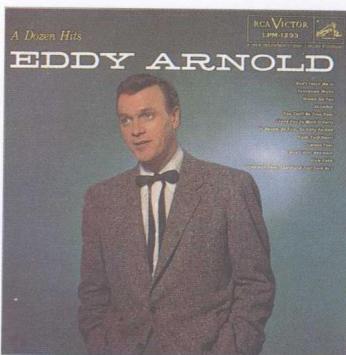
①スーパースターの肖像



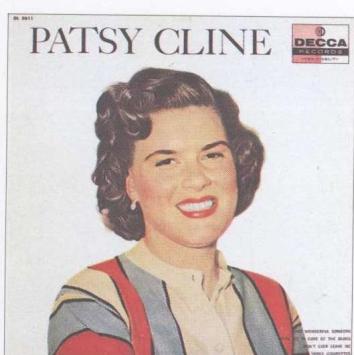
HUMMM AND STRUM ALONG
by Chet Atkins



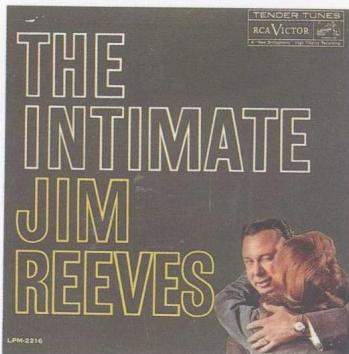
ROMANCE ON THE RANGE
by Patti Page



A DOZEN HITS
by Eddy Arnold



PATSY CLINE
by Patsy Cline



THE INTIMATE
by Jim Reeves

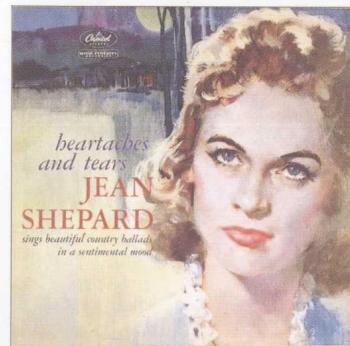


JOURNEY TO THE SKY
by Martha Carson

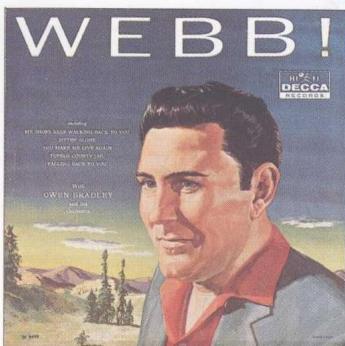
②イラストレーション・ジャケット



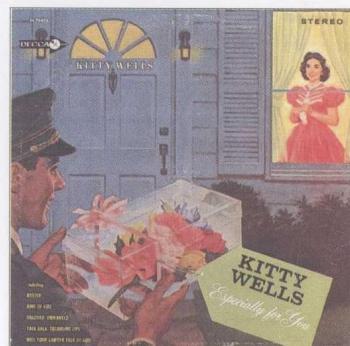
HERE'S THE ANSWER
by Skeeter Davis



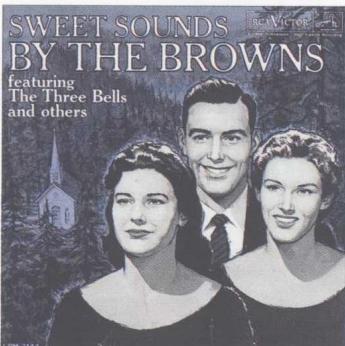
BEARTACHES AND TEARS
by Jean Shepard



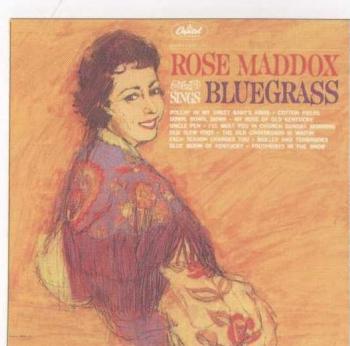
WEBB!
by Webb Pierce



ESPECIALLY FOR YOU
by Kitty Wells



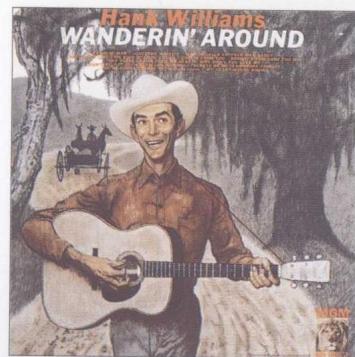
SWEET SOUNDS
by The Browns



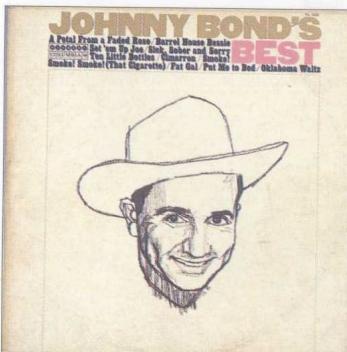
ROSE MADDOX SINGS BLUEGRASS
by Rose Maddox



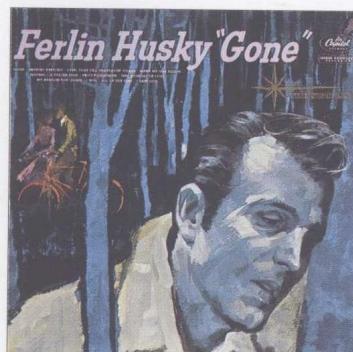
TUMBLEWEED TRAILS
by The Sons of the Pioneers



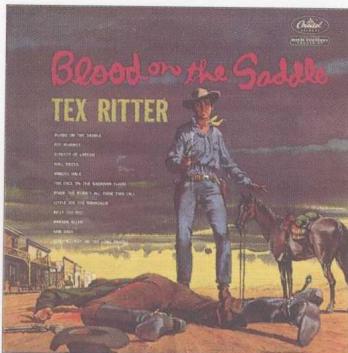
WANDERIN' AROUND
by Hank Williams



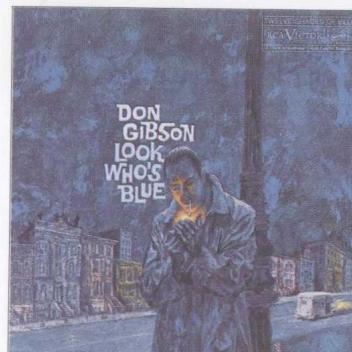
BEST
by Johnny Bond



GONE
by Ferlin Husky

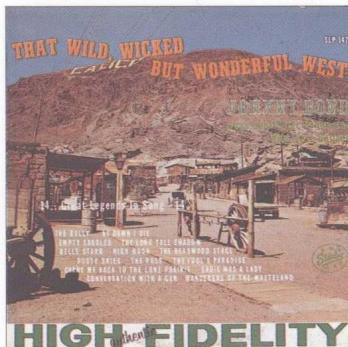


BLOOD ON THE SADDLE
by Tex Ritter

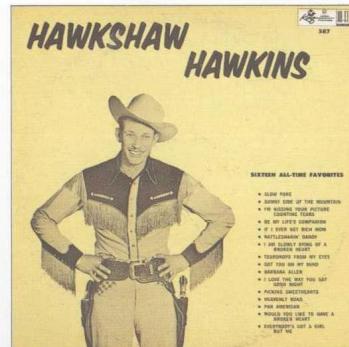


LOOK WHO'S BLUE
by Don Gibson

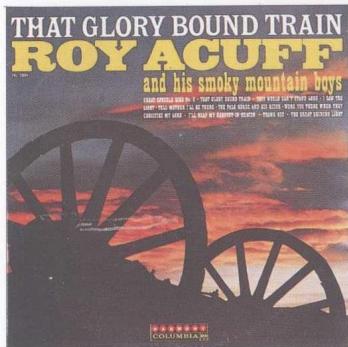
③遙かなる西部



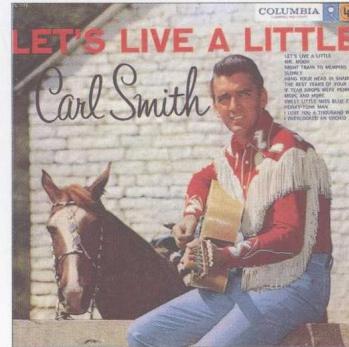
THAT WILD, WICKED BUT WONDERFUL WEST
by Johnny Bond



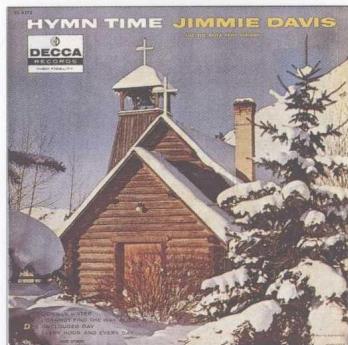
SIXTEEN ALL-TIME FAVORITES
by Hawkshaw Hawkins



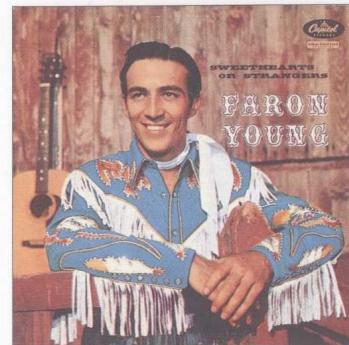
THAT GLORY BOUND TRAIN
by Roy Acuff



LET'S LIVE A LITTLE
by Carl Smith



HYMN TIME
by Jimmie Davis



SWEETHEARTS OR STRANGERS
by Faron Young



チエンジング・パートナー／パティ・ペイジ

このパティ・ペイジの「チエンジング・パートナー」が、著者3人のベスト曲に決まった経緯は、座談会に詳しい。その座談会を行うにいたった経緯を、この場を借りて書いておきたい。

この本の企画は、東が担当した。本来なら1人で書くところだったが、カントリーにも人生にも口うるさい友人が2人いて、その面々を差し置いて書いては、後で何を言われるかわからない。そこで、頑固爺い2人にも声をかけた。それぞれ3曲ずつ、自分の好きな、あるいはこだわっている曲をテーマに、エッセイなり、解説なり、小説なり、好きなことを書こうということになった。

だが、CDは全部で10曲入る。そこで最後の1曲を誰がとるか、一時は嫌悪な空気が——もちろん、1人が4曲になって書く負担が増えではたまらない、ということから、3人の仲もこれまでかと危ぶまれた時もあった。だが、そこは年の功。年長の東の提案で、座談会をやり、その中で3人共通の最高だと思われる曲を選ぼうという、一石二鳥のアイディアを出した。

その当日、場所は東の家。なぜならその日、〈沢野ひとしとメイ・フライヤーズ〉の練習がそこで行われるからである。昼過ぎからの練習でくたびれ果てた夕刻、本山賢司が「三千盛」一本を抱えて到着した。そして結局は、我らが年齢の男たちにとっては、懐しくも胸の痛い、パティ・ペイジの名曲に決まったわけである。

彼女の曲では、1951年の「テネシー・ワルツ」が、最高最大のヒットではあるが、それを出すのは照れ臭いといいうへソ曲がりの年齢と性格の3人であることをお含み願いたい。「チエンジング・パートナー」は、ジョー・ダリオン作詞、ラリー・コールマン作曲の1953年のヒット曲。同年11月21日からヒット・チャートに入り、最高4位。だがボクらにとっては、トップの座を2、3年も続けたほど感銘深い曲である。他にビング・クロスピーやケニー・スターの歌もあるが、問題じゃない、とあえて言っておこう。(東)

詞著作権表示（詞の©年は曲が最初に録音された年とは必ずしも一致しません）

日本音楽著作権協会（出）許諾第9163100-101号

(P18) "WILL THE CIRCLE BE UNBROKEN"

Lyric by Tanja Parker, David John. Arr. by A.P. Carter

© 1934 by PEER INTERNATIONAL CORP. International Copyright Secured.

All Rights Reserved. Authorized Selling Agent in Japan : HIGH NOTE PUBLISHING CO., LTD.

(P95) "PEACH PICKIN' TIME DOWN IN GEORGIA"

by Jimmie Rodgers / C. McMichen

© 1933 (Renewed 1960) by PEER INTERNATIONAL CORP. International

Copyright Secured. All Rights Reserved. Authorized Selling Agent in Japan :

HIGH NOTE PUBLISHING CO., LTD.

(P116) "PAN AMERICAN"

Words & Music by Hank Williams

© Copyright 1948 by ACUFF-ROSE MUSIC. INC., Nashville, Tenne., U.S.A.

Rights for Japan controlled by Shinko Music Publishing Co., Ltd., Tokyo

Authorized for sale in Japan only

(P130) "ME AND BOBBY MCGEE"

Words & Music by Kris Kristofferson, Fred L. Foster

© COMBINE MUSIC CORPORATION. Rights for Japan controlled by

TOSHIBA-EMI MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

CD収録曲（すべて外国製音源）

1. WILL THE CIRCLE BE UNBROKEN

by Red Foley from "Beyond the Sunset" (Decca)

2. SAN ANTONIO ROSE

by Bob Wills from "Bob Wills Special" (Columbia)

3. EL PASO

by Marty Robbins from "Gunfighter Ballads" (Columbia)

4. JAMBALAYA

by Hank Williams from "Honky-Tonkin" (MGM)

5. THE NEXT VOICE YOUR HEAR

by Ernest Tubb from "The Importance of Being Ernest" (Decca)

6. FIDDLES AND GUITARS

by Red Foley from "Dear Hearts and Gentle People" (Decca)

7. WABASH CANNON BALL

by Roy Acuff and His Smoky Mountains from "Songs of the Smokey Mountains" (Capital)

8. LINDA LOU

by Cherokee Cowboys from "Western Strings" (Columbia)

9. THE EVERLASTING HILLS OF OKLAHOMA

by Sons of the Pioneers from "Cowboy Classics" (RCA VICTOR)

10. CHANGING PARTNERS

by Patti Page from "Golden Hits" (BMI)

カントリー極楽帳
目次

死が、待ち遠しい ウィル・ザ・サークル・ビー・アンブローカン／レッド・フォーレイ 東理夫

東理夫
5

夏休み サン・アントニオ・ローズ／ボブ・ウイリス 沢野ひとし 21

エルパソの夏 エルパソ／マーティ・ロビンス 本山賢司 37

歌うたびに喉が鳴る ジャンバラヤ／ハンク・ウェリアムズ 東理夫 53

沖縄の旅 ザ・ネクスト・ボイス・ユア・ヒア／アーネスト・タブ 沢野ひとし 71

桃の実が熟するとき フィドルズ・アンド・ギターズ／レッド・フォーレイ 本山賢司 89

遠い汽笛が胸にしみる ワバッシュ・キャノンボール／ロイ・エイカフ 東理夫 105

駆けおち リンダ・ルーンチ＆ロキー・カウボーイズ 沢野ひとし 125

焚火のまわりで ザ・エバーラスティング・ビルズ・オブ・オクラホマ／サンズ・オブ・ザ・バイオニアーズ 本山賢司 141

座談会■カントリー“究極の一曲”はコレだ！ 沢野ひとし・東理夫・本山賢司 159

cover illustration 沢野ひとし + 本山賢司
art direction スタジオ・ギヴ
cover photo 熊澤透

死が、待ち遠しい

ウィル・ザ・サークル・ビー・アンブローカン

東理夫

Hanged by mistaken

(間違つて首を吊られる——アリゾナ州トゥーソンの町はずれ、ブーツヒルにあるジョージ・ショーンソンの墓の墓碑銘)

以前、青山の南町に住んでいたことがある。

戦後、そこに移り住んだ時は、焼野原の中に麦畑が広がっているという、今の青山からはおよそ想像もつかない町だった。ボクにとっては、初めて生活し、アイデンティティを感じた町だ。だから愛着もあり、何よりも住み心地がよかつた、と、今遠く離れてあらためて思う。

その住み心地がよかつたというのは、たとえば通っていた小学校がすぐ裏手にあって、それも始業ベルが鳴つてから走つていっても間に合つたり、忘れ物に気づいて家に取りに戻つても、先生が職員室を出て教室に到着する前に何食わぬ顔で戻つて来れる、といった、これまでいろんな人が書いてきた町内小学校の楽しさや、当時、目の前の青山通りを走つていた都電や、真下を走る地下鉄に乗れば、銀座や渋谷の繁華街へ一直線、一〇分か一五分で行けたといったことばかりではない。

確かに、小学校時代のボクらは、歩いて渋谷の〈東横〉まで遊びに行つたものだつた。その頃の東横デパートは、屋上遊園地の他、八階にもピッククリハウスや小型のコーヒーカップやお子さま向けとも思えるジェットコースターなどが設置されていて、まるで夢の王国のような雰囲気に満ちていた。その時代にも〈れん街〉というのはあつたように覚えていて、今もたまに通りすがりに寄つてみるとひどく懐しい思いがする。

しかし、青山のよさはそういう便利さにあるのではなく、ようするに山の手でもなく下町でもない、というか、地域的にもその中間にあるせいか、下町の氣きつぶ風のよさ、人なつこさとともに、山の手の持つおつとりした育ちのよさ、のようなものがいまぜになつた、モダンなくせに保守的であり、リベラルでありながらスクエアであるといった風通しのいい町の空気がよかつたのではないかと思われ